

私たちの歩み

1951年『東京有職婦人クラブ』誕生—東京在住の働く女性たちを中心に女性の地位向上を目指しながら親睦を図る小さなグループ。その後、横浜・名古屋などに同様のクラブが結成
 1958年 日本有職婦人クラブ全国連合会が発足
 1959年 IFBPW (現BPW International) に加盟
 1993年 名古屋コンgres開催—日本でのIFBPW 総会
 1994年 世界各国の呼称統一で、日本BPW 連合会と改称
 2009年 「特定非営利活動法人日本BPW 連合会」と法人化
 2017年 認定NPO 法人に認定
 2018年現在、16のクラブ・アソシエーツ及び個人会員で組織され、会員数は約300名。
 内閣府男女共同参画推進連携会議の構成団体でもある。

主な活動

イコール・ペイ・デイ (EPD) キャンペーン・

男女賃金格差の「見える化」。男性の1年分の賃金を女性が手にするため1年を超えて余計に働かなくてはならない日が「イコール・ペイ・デイ Equal Pay Day」行政への要望書提出や街頭ピエール活動等。(2019年は5月13日)



男女格差解消に向けた活動 (GGGI)

世界経済フォーラムが毎年公表する男女平等度指数 (The Global Gender Gap Index : GGGI) に基づき、男女格差解消に向けたシンポジウム開催や、提言を実施。
 (2018年、149か国中、日本は110位)

WEPs (女性のエンパワメント原則) の広報啓発

女性が能力を発揮しやすい環境整備に向け、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業の行動原則 (=WEPs : ウェップス) への理解及び参画企業拡大のための活動。

国連CSW インターン派遣及びイベント実施

国連女性の地位委員会 (CSW) に国際的な女性問題に取り組む意欲のある20代女性をインターンとして派遣。世界の女性たちと問題を共有し、国際的活躍へのキャリア応援。現地や帰国後にもイベントを運営・実施等。

BPW International 統一活動テーマ (2017-2020)

“Empowering Women to Realize Sustainable Development Goals”

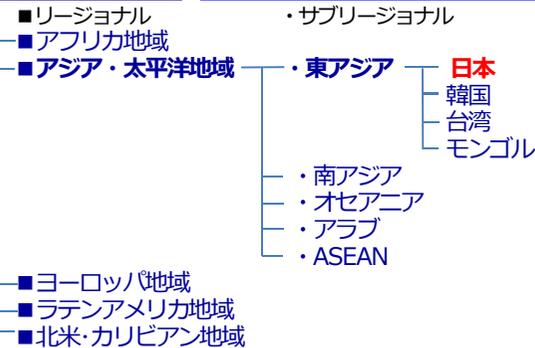
— SDGsの実現にむけて 女性の力を高めよう —

サブテーマ : あらゆる分野で

男女のフィフティ・フィフティの実現を目指そう

組織

BPW International <http://www.bpw-international.org>



【国内組織】 認定NPO 法人日本BPW 連合会

執行役員会

理事長
副理事長
専務理事
会計

常任委員会

企画
組織
広報
国際
財務
ヤングBPW

理事会

上記役員、常任委員長及び各単位クラブ代表理事で構成

プロジェクトチーム (PT)

課題に応じて
例: EPD-PT、CSW-PT、WEPs-PT 等

■ 単位クラブ等

北海道・東北
ブロック
札幌クラブ
苫小牧アソシエーツ
青森アソシエーツ
山形クラブ
関東・山梨
ブロック
東京クラブ
山梨クラブ

中部ブロック

名古屋クラブ
あいちアソシエーツ

近畿ブロック

京都クラブ
大阪クラブ
和歌山クラブ
香川クラブ

西日本ブロック

福岡クラブ
北九州クラブ
長崎クラブ
熊本クラブ

■ その他

個人会員
賛助会員



National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN

認定NPO 法人 日本BPW 連合会

一步前へ 足を

あらゆる分野で

男女半々 (50-50) が当たり前!

日本BPW 連合会は、創立から60年、錘の分 \updownarrow だけ50-50に近づきましたが、現実はまだまだ…
 あらゆる分野での男女の格差を解消し、すべての人が輝く社会の実現を目指します。



国会議員 10.2%

(衆議院のみ)

就業率 69.6%

(管理職 14.9%)

大学進学率 50.1%

(大学院 5.7%)

平均寿命 87.32年

(健康寿命 74.79年)

*2019年3月末データ

女性国会議員 5.8%

女性就業率 50%以下

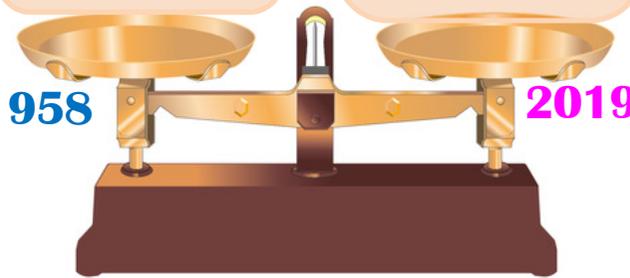
女性大学進学率 2%

(大学院≠ゼロ)

平均寿命 70.91年

1958

2019



BPW (は、Business and Professional Women の略で、日本BPW 連合会は、働く女性の国際組織BPW International 加盟の認定NPO 法人です。BPW International は、国連の経済社会理事会の諮問機関として、総合協議資格を持つNGO の団体です。

-----事務局-----

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館 303

TEL03-5304-7874 FAX03-5304-7876

E-mail office@bpw-japan.jp URL <http://www.bpw-japan.jp/>

f <https://www.facebook.com/bpw.japan>

インスタグラム http://instagram.com/epd_japan

日本BPW 連合会歴代表（会長・理事長）

- 1958 山主 敏子 共同通信論説委員
- 1959 久米 愛 弁護士
- 1961 西 清子 評論家
- 1963 金子 みつ 参議院議員
- 1965 高力 寿美子 大阪府専門職員
- 1967 北野 とみ アメリカ文化センター次長
- 1971 影山 裕子 国立電報電話局長
- 1975 高橋 展子 駐デンマーク大使
- 1976 橋本 綾子 衣笠学園園長
- 1979 高橋 展子 駐デンマーク大使
- 1980 安藤 はつえ あいふおーらむ編集長
- 1983 高橋 久子 最高裁判事
- 1987 佐々 基子 NHK プロデューサー
- 1991 安藤 はつえ あいふおーらむ編集長
- 1995 平松 昌子 就職情報誌編集長
- 1999 出村 和子 弘前学院大学教授
- 2003 平松 昌子 会社役員
- 2005 黒崎 伸子 小児外科医
- 2009 松原 敏美 弁護士
- 2013 名取 はにわ 男女共同参画局長
- 2017- 平松 昌子 会社役員



第8・10代
高橋展子



第12代
高橋久子



第15・17・21代
平松昌子

※肩書きは、代表就任時のものとは限りません



「すべては 2030 年に ジェンダー平等を実現するために」

BPW は、2015 年国連総会で世界が合意した、2030 年の実現を目指す「17 の持続可能な開発目標(SDGs)」を重視し、特に#5(男女平等)と#8(働き甲斐と賃金)の実現に力をいれています。また GGGI の観点より #3 健康 #4 教育 #10 格差是正についても注視し、国内外で BPW の仲間とともに、他団体とともに、また行政や地域と協働して「SDGs 達成」「2030-5050/ニマルサマル フィフティフィティ」の実現を目指します。

活動の目的

1. 女性の社会的地位と職業水準向上
2. 働く女性の社会環境の改善、整備
3. 国内外の働く女性間の親交と理解の促進
4. 国内外の組織・団体との協力連携
5. 世界平和への寄与



次世代とともに



2018年5月23日、その第一歩が実現！「政治分野における男女共同参画推進法」が成立しました。

Congress 開催地・今後の予定地

- 第20回 1991年 ケニア (ナイロビ)
- 第21回 1993年 日本 (名古屋)
- 第22回 1996年 イタリア (ベニス)
- 第23回 1999年 カナダ (バンクーバー)
- 第24回 2002年 オーストラリア (メルボルン)
- 第25回 2005年 スイス (ルツェルン)
- 第26回 2008年 メキシコ (メキシコシティ)
- 第27回 2011年 フィンランド (ヘルシンキ)
- 第28回 2014年 韓国 (チェジュ)
- 第29回 2017年 エジプト (カイロ)
- 第30回 2020年 アメリカ (オーランド/フロリダ州)



2017年カイロ・コンgres



2014年チェジュ・コンgres

BPW International (BPWI) は5大陸にわたる100以上の国と地域が加盟、会員数は数万人です。国連の経済社会理事会の諮問機関として、総合協議資格を持つ団体で、国連のCSW(女性の地位委員会)及びILO、UNESCO、UNIFEMに代表を送っています。世界大会(コンgres)を3年に一度開催し、世界の女性達に共通する問題を協議・決議しています。

